印西大師　第61番　滝・瀧水寺

1　名称　(No.061)〔手引鏡：竜水寺〕〔資料館：滝水寺〕〔行程表：滝水寺〕

2　場所　印西市滝1009　瀧水寺

宗甫観音堂から道程約1610m

GPS座標 35.81785988441101, 140.18027622798064

3　由緒　天台宗

瀧村字宮前にあり天台宗比叡山派にして比叡山延暦寺直末なり 当寺薬師如来は人皇五十四代仁明天皇の御守本尊にして御長一寸八分閻浮檀金（えんぶだんごん）佛なり 木像は慈覚大師御作にして金像御腹籠（はらごもり）となし奉承和元年草創御座候 檀徒250人 境内仏堂二宇庵室一宇あり 即 不動堂 鐘楼堂 大日堂（印旛郡誌）

4　御堂　大師堂の中に丸彫りの御大師様が１体あり。

5　境内　大師堂のほか薬師堂、仁王門、梵鐘などあり。東隣は白山神社

6　写真　（2022.10撮影）

大師堂

御大師様

大師堂

仁王門

薬師堂

小林一茶の句碑

7　情報

(1) 印西大師 第61番 瀧水寺 御詠歌（泉倉寺本による）

後の世を思へば詣れ香園寺 と(止)めてと(止)まらぬ白瀧の水

四国八十八ヶ所 第61番 真言宗 栴檀山(せんだんざん) 教王院 香園寺(こうおんじ) 写し

ただし、瀧水寺の大師堂の扁額に掲げられている御詠歌は、これとは異なり、

のちの代お おそるゝ人は ふぉおんじ とめて止まらぬ 白瀧の水

となっています。詳しくは、「かまがや散歩」HP参照

http://kamagaya-sanpo.blogspot.com/2014/06/blog-post_7.html

(2) 木造金剛力士立像

像容から受ける力強さは中世風ですが、足・腕に見られる弱さは時代的に下ると考えられます。二体の像には構造的な違いがありますが、同時期の作と見られます。製作年代は、室町期と推定されています。(千葉県公式観光物産サイトより)

(3) 梵鐘

建武5年（1338年）の銘文が刻まれている梵鐘です。総高99.6cm、口径58.2cm、段組で鋳上げられており、乳は4段4列上帯下帯とも素文、池の間一区に銘文が刻まれています。2個の撞座は竜頭の方向と平行に位置しています。毛彫による8葉の複弁で、1個は蓮子をよ刻み雄芯を付けず、他の1個には54本の雄芯を刻み蓮子は7個。県にはこの種の撞座は見当たりません。模様は他に見当たらない珍しいものです。千葉県の有形文化財に指定されました。(千葉県公式観光物産サイトより)

(4) 千葉県文化財指定瀧水寺薬師堂改築記念碑

瀧薬師堂は瀧水寺なり　承和年中建立と傳う古文書蔵め　又建武五年の古鐘あり刻鮮明なり　瀧水寺は天台比叡山派にして比叡山延暦寺の直末なり　薬師堂本尊は薬師如来にして人皇五十四代仁明天皇の守本尊にして御長一寸八分の閻浮金佛なり　本像は慈覚大師の御作にして金像後腹籠となし奉り承和元年草創なり　建立門の仁王尊は運慶の作と傳う　昭和六十一年改体修理を行い　二百年毎に三回修理を行いたる事歴然なり　就いては平成元年千葉県文化財の指定を受けたり　本堂及び仁王門は崩壊寸前の有様なり　檀家有志と相計り大改築を行いたり　瀧水寺資産は田畑八十俵付全部解放なり又檀家の離脱者続出せり苦心の結果瀧水寺所有の山林を資産として改築を行う　又現在の本堂及び仁王門は寛永十年の作と傳う　平成元年一月（印西市調査報告書(本埜)）

(5) 金剛力士像・梵鐘・薬師堂

瀧水寺には千葉県の有形文化財に指定された木造金剛力士(仁王)立像二体があります。左手で金剛杵を振り上げ、右手には臂を曲げ、五指を広げて構える形は、平安時代以降の金剛力士像に多く用いられたもので、千葉県内では橘善寺像(市原市、県指定)、万満寺像(松戸市、国指定)に次ぐ古作といわれています。

仁王門をくぐると左手に県指定有形文化財の梵鐘があります。建武五年(1338年)の刻銘があるこの鐘は総高99.6cm、口径58.2cmで整った姿をしています。この梵鐘に興味を抱いた人物がいます。俳人、小林一茶です。一茶はこの鐘を二度見物に訪れており、最初は文化三年(1806年)、布川(現利根町)から佐倉に向かう途中で瀧水寺と龍腹寺に立ち寄り、梵鐘を見学しています。一茶の旅日記である「文化句帳」の一月二十五日には「瀧村瀧水寺鐘銘ニ建武五年トアリいぶかし」と記されています。また、五年後の文化八年にも瀧水寺を再訪したことが「七番日記」にあり「瀧村滝水寺鐘銘写、日入シテ帰」と、深い関心を寄せています。

参道正面の薬師堂は、仁明天皇の勅願で承和元年(834年)に草創されたといわれています。薬師堂と道路をはさんで本堂があり、慈覚大師の作と伝えられている木造阿弥陀如来像が本尊として祀られています。(北総鉄道「北総線の小さな旅」)